

漁海況速報

No.30

平成15年8月1日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

親潮系冷水の南下継続、茨城県沖で黒潮系暖水の波及

①親潮系冷水は、本県沖30海里付近を南下しており、その水温は15~16°C台となっている。昨年同期・同海域と比較すると4°C以上低い。

②黒潮系暖水の本県海域への波及は依然弱いものの、茨城県海域の沖合75海里付近では、20~23°Cの暖水が北へ波及している。

見通し(1週間)

・平年では親潮系冷水が弱まり、黒潮系暖水が波及する時期にあります。引き続き親潮系冷水に覆われるでしょう。

2003年8月海洋観測結果

・7月30日~8月1日に「いわき丸」が行った観測結果をお知らせします。(下表は°C、50海里以内の平均)

・今期の特徴は、下層の低水温傾向はやや解消されました。引き続き親潮系冷水が南下していることです。

・本県沖は、昨年の今頃から水温が低めとなっており、その要因としては、親潮系冷水そのものの南下勢力が強いことに加え、黒潮系北上暖水の勢力が弱いために、冷水域が解消されないことが挙げられます。

	0m深(表面)			100m深		
	水温値	平年差	前年差	水温値	平年差	前年差
鵜ノ尾崎	17.3	-4.08	-4.78	6.92	-3.4	-1.94
富岡沖	17.0	-5.56	-4.51	8.57	-1.18	+3.13
塩屋崎沖	16.8	-5.99	-4.21	8.40	-1.78	+0.38
平均	17.0	-5.21	-4.50	7.96	-2.12	+0.52

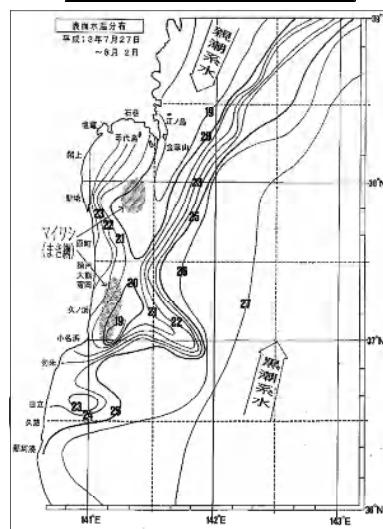
(裏面に8月の100m深水温分布図を掲載しています)

定地・定点水温の推移(°C)

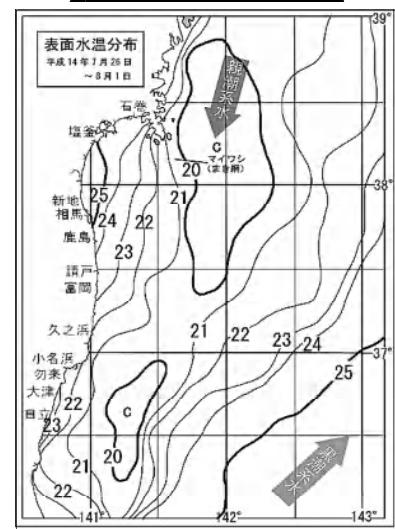
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
7/25	18.7	19.4	18.4	17.3
7/28	18.5	18.2	18.0	13.7
7/29	18.7	17.3	18.3	14.4
7/30	17.7	16.5	19.0	15.5
7/31	16.9	16.1	18.9	14.1

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

平成13年同期

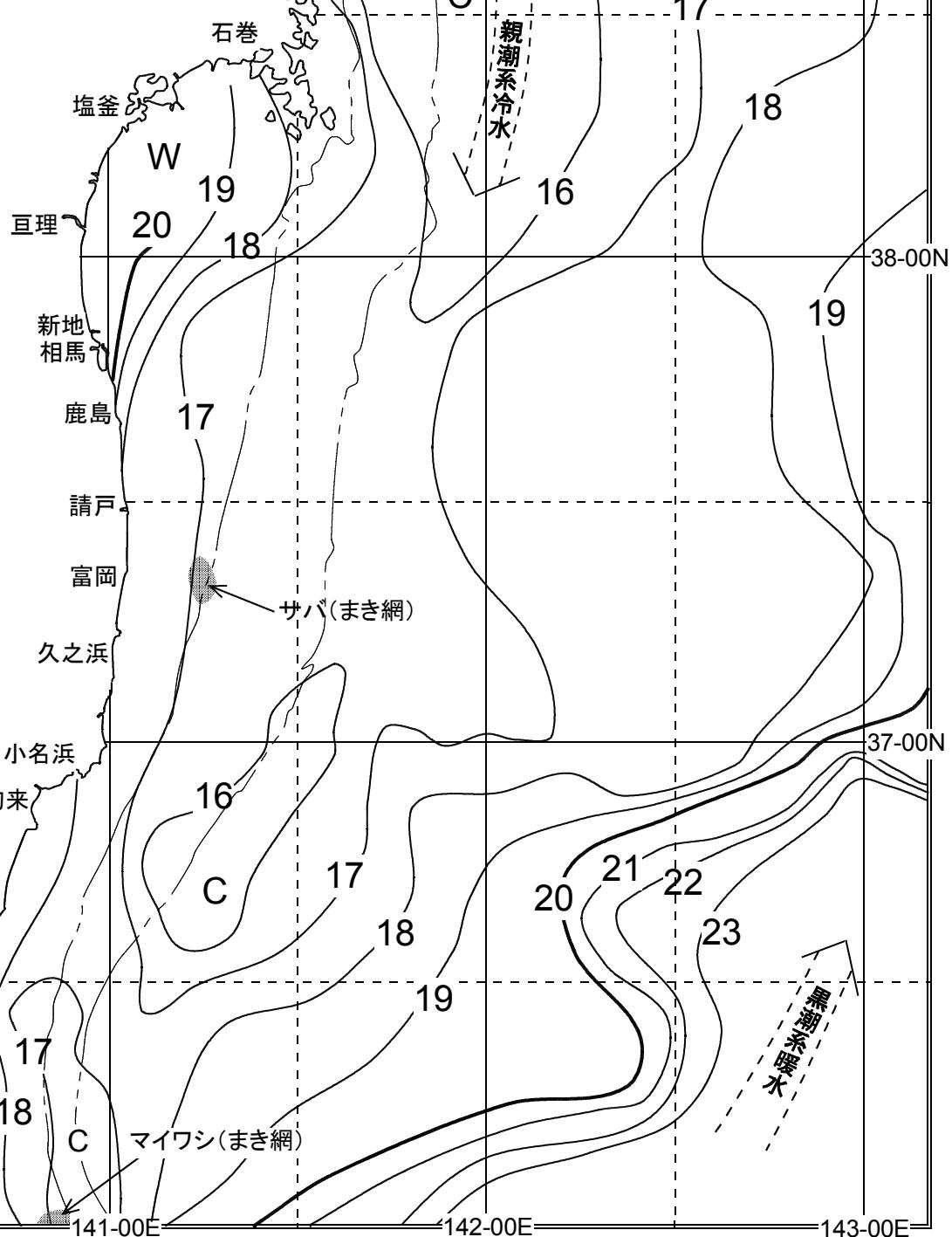


平成14年同期



表面水温分布

平成15年7月25日
~7月31日



漁海況速報

No.31

平成15年8月8日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

沖合で昇温したが、沿岸は冷水域が分布

①親潮系冷水は、前週よりやや沿岸寄りを南下し、距岸15~20海里付近は15~16°C台の冷水が分布している。

②黒潮系暖水の目立った波及はみられないが、親潮系冷水の分布する海域を除き全体的に昇温が進み、20°C台の等温線は本県沖の距岸30海里付近にみられる。

見通し(1週間)

これまでの経過と大きく変わらない見込みで、親潮系冷水は本県沿岸を南下し、黒潮系暖水の波及は沖合に限られるでしょう。

平成15年度サンマ漁海況予報

・8月6日に東北区水産研究所および関係機関で協議・採択された予報をお知らせします。(要約・抜粋)

【対象漁業】棒受網

【海況】(予報期間:9~11月)

- (1)黒潮系暖水の北限位置は平年並み~やや南寄り。
(2)釧路南東沖の暖水塊は持続し、金華山沖の暖水塊は西方へ移動する。

- (3)親潮第1分枝の張り出しが、やや南偏($39^{\circ}30'N$ 以北)で推移し、常磐近海に冷水域が残る。

【漁況】(予報期間:8月中旬~12月)

- (1)来遊量…昨年を上回る。
(2)漁期・漁場…大型船出漁後の漁場は、道東~色丹島沖に形成されるが、漁場は分散する。三陸沖の漁場は例年より早い9月中旬に形成される。
(3)魚体…漁期当初から大型魚の割合が高く、漁期を通じて大型魚主体の漁獲となる。

(関連図については裏面に掲載)

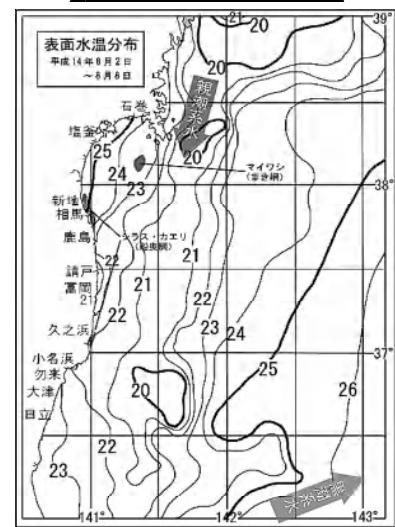
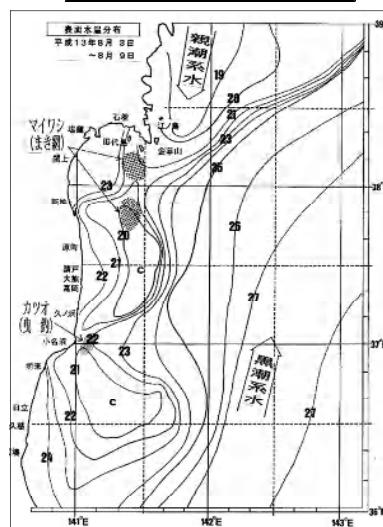
お知らせ 次号の漁海況速報(No.32)はお盆休市を挟むため、8月22日(金)に発行いたします。

平成13年同期

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
8/1	17.6	18.9	19.5	15.1
8/4	18.3	17.2	21.3	14.7
8/5	18.1	17.4	20.6	14.1
8/6	18.1	17.3	21.1	14.7
8/7	19.2	20.4	20.4	14.4

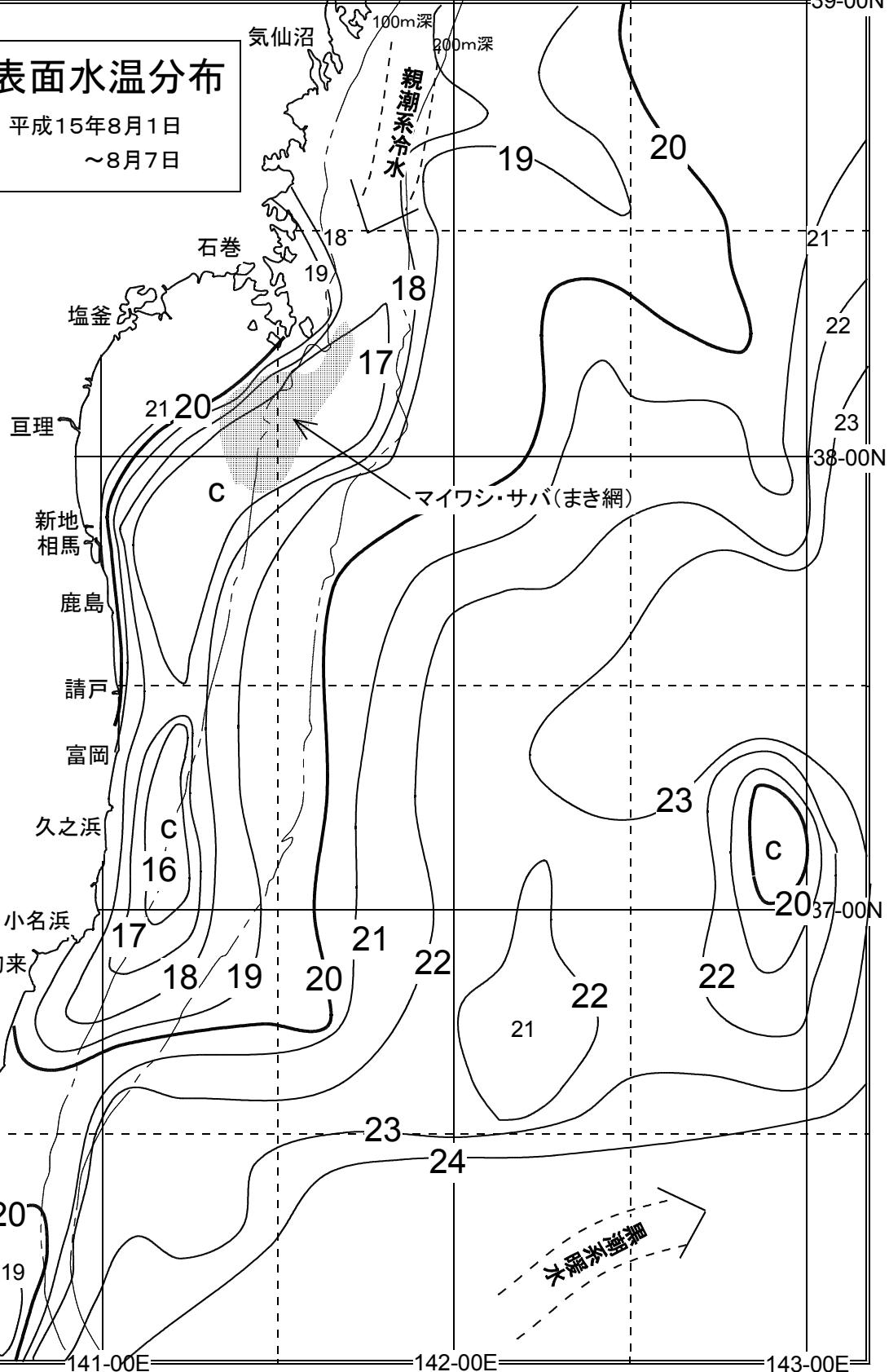
広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

平成14年同期



表面水温分布

平成15年8月1日
~8月7日



漁海況速報

No.32

平成15年8月22日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

親潮系冷水が沿岸寄りに南下する
が水温はゆるやかに昇温

①親潮系冷水は、前々週と同様に
距岸20海里付近を南下するが、
水温は2°C昇温し17~18°C台と
なっている。

②黒潮系暖水の波及は塩屋崎沖、
距岸50海里付近に21~22°C台
で弱い波及がみられるのみで、
依然弱い状態が継続している。

③定地水温は、小名浜、大熊で平
年より2~3°C低め、松川浦で4~
5°C低めで推移している。

見通し(1週間)

・親潮系冷水は現状並みの勢力
で、沿岸寄りに南下するでしょう。
黒潮系暖水の波及は弱く、
沖合では単調な水温分布となる
でしょう。

漁況情報(サンマ)

- 今年のサンマ棒受網漁は、お盆明けから大型船が出漁し本格化しています。
- 現在の漁場は道東沖(釧路~落石沖)の12~13°C台に形成されており、大・中型(肉体長24cm以上)が主体となっています。
- 8月20日までの水揚げ状況は次のとおりです。

	平成15年	平成14年
隻数	5,919	6,181
水揚量トン	9,108	8,416
平均単価(円/kg)	503	423

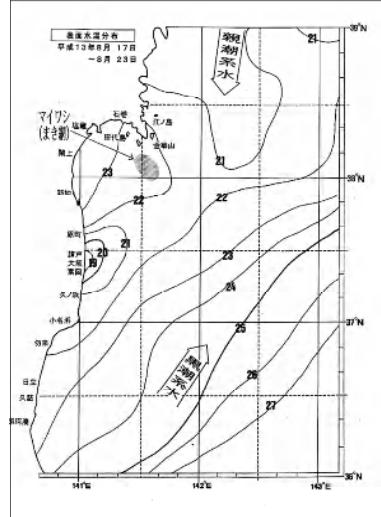
(全さんま調べ、データは北海道・本州棒受網計)

- 調査船「いわき丸」は、8月25日より道東~三陸海域でサンマ漁場調査を実施する予定です。

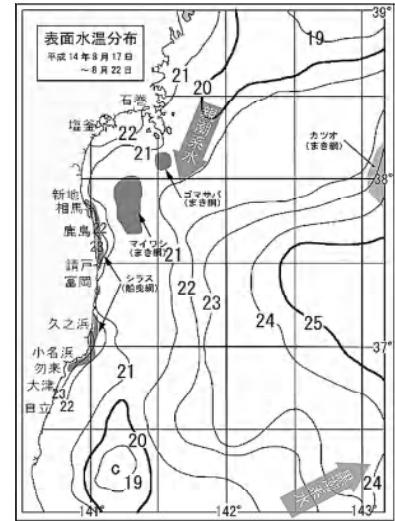
調査船情報(底びき)

- 8月18,19日に調査船「いわき丸」で実施した底びき調査の結果について、裏面に掲載しました。

平成13年同期

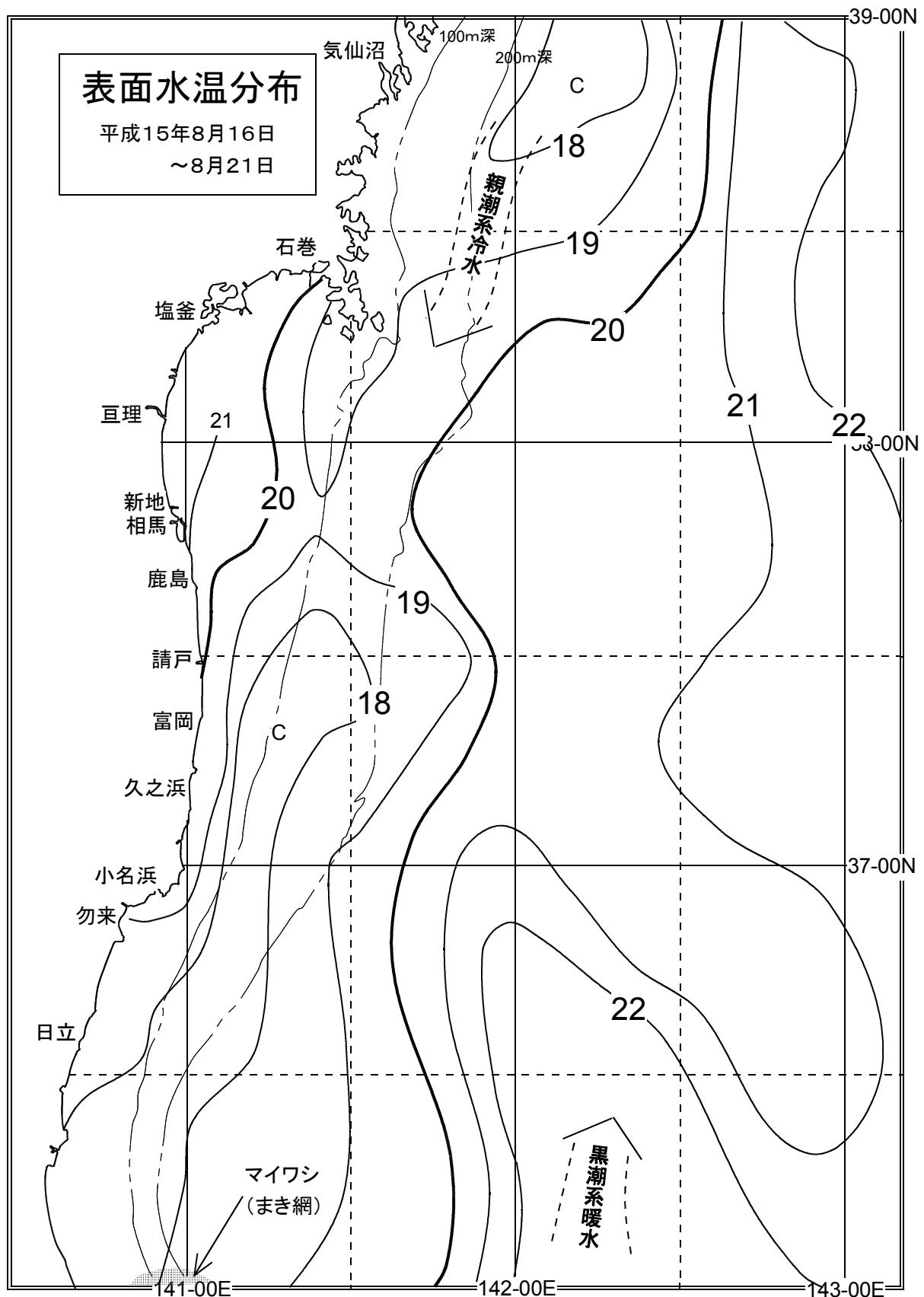


平成14年同期



表面水温分布

平成15年8月16日
~8月21日



漁海況速報

No.33

平成15年8月29日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

全体的に2~3℃昇温。親潮系冷水は引き続き南下。

- ①親潮系冷水は、前週同様に沿岸寄りに南下しており、金華山沖には18℃台がみられるが、2~3℃昇温している。
- ②黒潮系暖水は、茨城県海域に25℃台がみられたほか、宮城県沖約50海里付近に23℃台の暖水が分布している。
- ③定地水温は、平年より小名浜で3℃、大熊で2~0℃、松川浦で2℃低めで推移している。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水は引き続き沿岸寄りに南下するでしょう。黒潮系暖水は、弱勢ながら県北部沖合に分布するでしょう。

漁況情報(サンマ)

- ・8月25日にサンマの初水揚げが小名浜港にありました。例年より早い初水揚げとなりましたが、現在の主漁場はまだ道東海域にあり、福島県へのまとまった水揚げは、もうしばらく先となる見込みです。
- ・調査船「いわき丸」は、8月25日から北海道周辺海域でサンマ調査を実施しましたが、詳細については裏面のとおりです。

〈参考〉近年の福島県サンマ初漁日と水揚状況

年	初漁日	単価 (円/kg)	年間水揚量(トン)	
			福島県	全国
平成9年	8/22	340	22,358	285,438
平成10年	9/9	200	6,207	140,110
平成11年	9/11	500	1,451	134,944
平成12年	9/11	280	2,891	211,883
平成13年	9/3	177	5,424	266,344
平成14年	10/14	166	5,720	205,268
平成15年	8/25	160	—	—

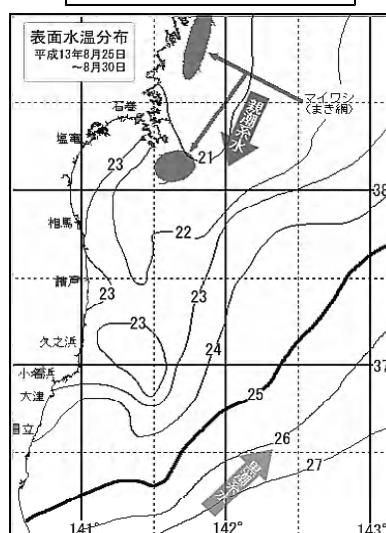
(全さんま、福島水試調べ)

定地・定点水温の推移(℃)

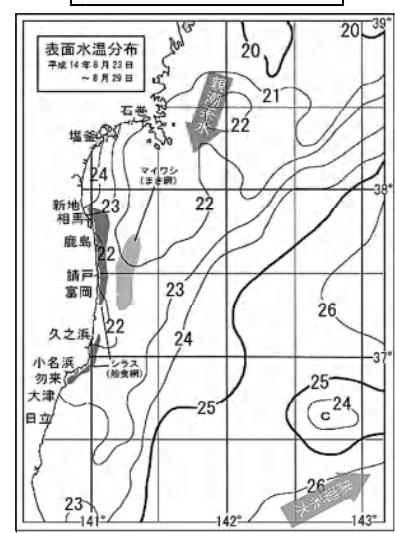
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
8/22	19.2	18.8	21.3	18.6
8/25	18.8	20.6	21.6	16.9
8/26	19.6	20.3	22.7	18.6
8/27	19.9	21.0	22.1	18.4
8/28	19.6	22.3	21.9	18.5

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

平成13年同期

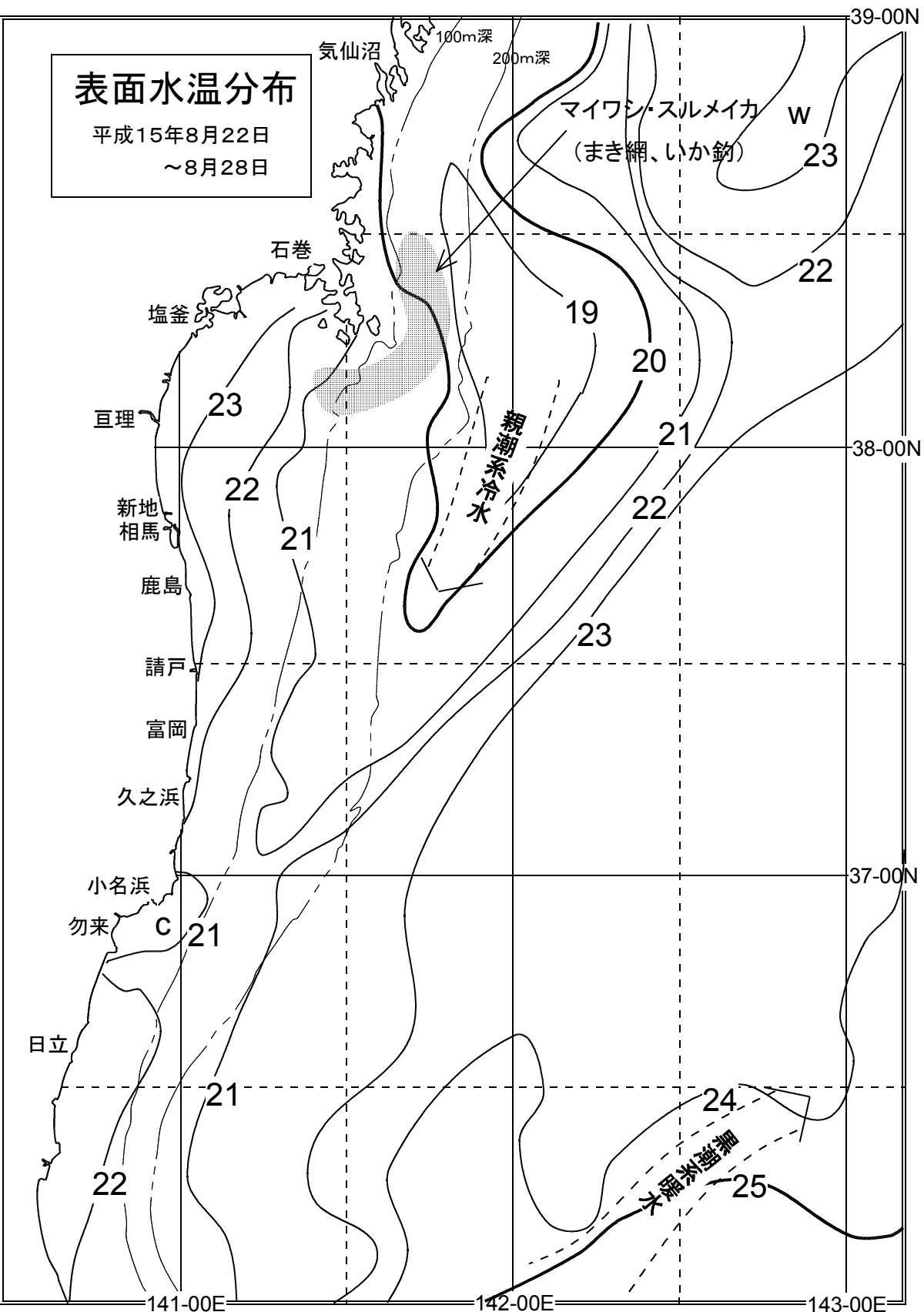


平成14年同期



表面水温分布

平成15年8月22日
~8月28日



お詫び

今週分の「漁況概況」につきましては、水産試験場データ受信システムの故障により、集計することができませんでした。今週分のデータにつきましては復旧し次第発行いたします。関係者ならびに購読者の方々には、大変ご迷惑をおかけしますことをお詫びいたします。

底魚情報「いわき丸底びき調査結果について」

- ・前報(No.32)でも掲載しましたが、引き続いて発生(来遊)状況をお知らせします。

1. 幼魚の発生(来遊)状況

- ・塩屋崎沖に於ける幼魚の発生状況を、生まれた(来遊した)年別に相対比較したものを以下に示します(調査データは、H12~H15年の1~8月のものを使用しています)。

① ヤナギムシガレイは、H11年生まれが非常に少なかったのですが、H12年生まれ以降の発生は比較的安定的に推移しています。これから漁獲加入するH14年生まれ(全長15~19cm)も大量発生ではありませんが最近では良好な発生群と考えられます。

② ニクモチ(ミギガレイ)は、H12年生まれが少なかつたのですが、H13年生まれが比較的多く、これから漁獲加入するH14年生まれ(全長13~17cm)もH13年生まれに次いで多い状況です。

③ ナメタ(ババガレイ)は、H13年生まれ(全長20~30cm)が多く、昨年後半から水揚げされておりますが、本調査ではH14年生まれは今のところ少ない状況です。

④ メヒカリは、H14年に来遊した群が非常に多かったのですが、H15年の新規来遊群は塩屋崎沖では殆ど採集されませんでした。

⑤ マダラ1才魚(全長33cm前後)は、H14年に生まれた群ですが、この群は大量発生に近い群と推測されており、塩屋崎沖でも過去の年級に比べ多い状況です。

* ()内の全長は8月現在のものです。

2.まとめ

ヤナギムシガレイやニクモチのH14年生まれは、1.5才位で未だ産卵に関与しておりません。ヤナギは雄が2才から、雌が3才から、ニクモチは3才位から産卵に加わります。これらを漁獲することは、サイズが小さいため単価が安く経済的にもったいない他、産卵親魚を減少させるおそれがあります。発生がそれほど悪くない今、資源の有効利用に努めたいものです。

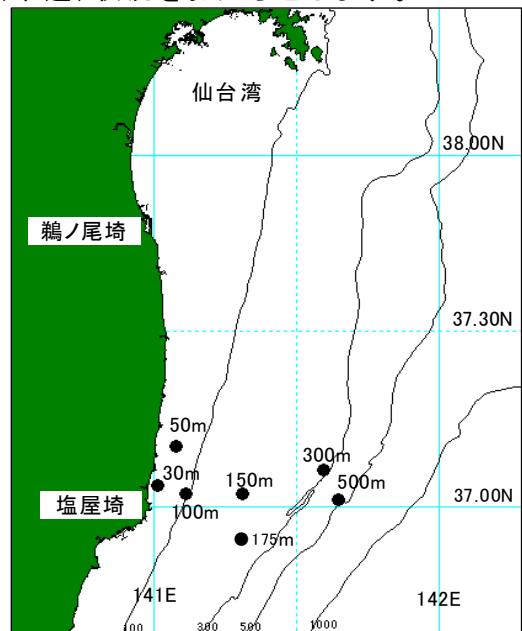


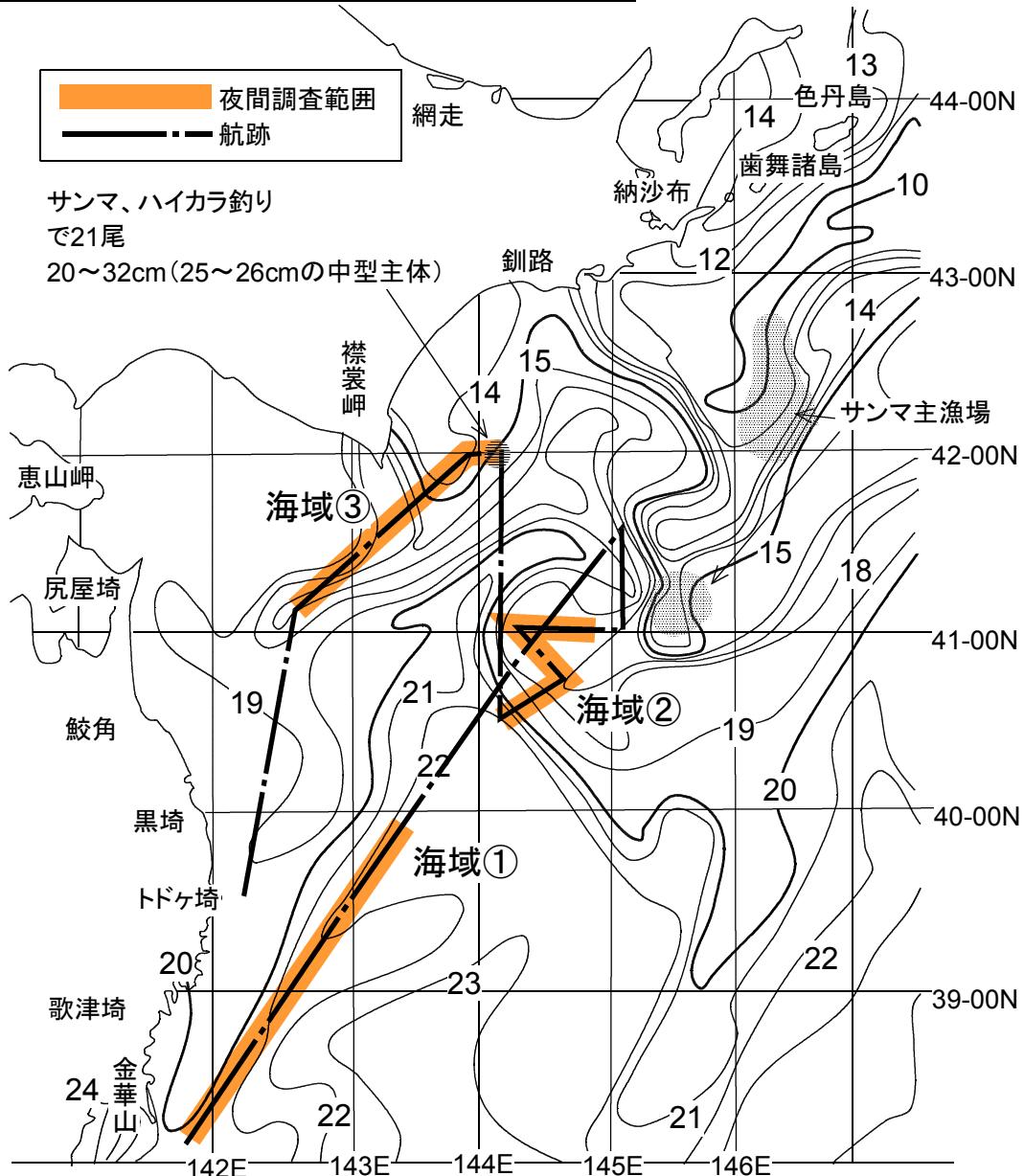
図1 いわき丸底びき調査定点

使用漁具:身網総長約40m

平均袖網間隔約12~14m

1定点あたり30分間曳網

調査船「いわき丸」によるサンマ漁場調査結果について



- ・調査期間は8月25日～29日で、調査範囲は図2のとおりです。サンマ探索を実施した夜間調査海域については、図2の①～③で示しました。
- ・海域①については、サンマは皆無でした。海域②については、大型のサンマが広く散見されましたが、漁場となるような群れはみられませんでした。海域③については、②よりも小型(10cm台もみられました)が中心で、尾数は②よりも多いものの、同じく漁場となるような群れはみられませんでした(襟裳岬以西は皆無でした)。
- ・当初の見通しどおり例年よりも南側まで分布していますが、沿岸漁場への来遊は未だ本格化していないと思われ、低調な水揚げとなっています。

漁海況速報

No.34

平成15年9月5日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:
県内各漁業協同組合
磐城沖石油開発(株)
宮城県水産研究開発センター
茨城県水産試験場
(社)漁業情報サービスセンターほか

第8回水産試験場参観デー開催!
とき:平成15年10月4日(土)
9:00~15:00
ぜひお越しください!

海況(表面)

沖合の水温は昇温し沿岸付近も昇温

- ①親潮系冷水は、本県のごく沿岸を南下し、茨城県海域には19°C台の冷水域がみられる。
- ②黒潮系暖水の波及は弱いものの、塩屋崎沖75海里付近には24°C台の暖水が分布している。
- ③定地水温は、小名浜、大熊で平年より1°C低め、松川浦で2°C低めで推移している。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水は現状並みに推移し、ごく沿岸に冷水域がみられるでしょう。沖合の昇温は停滞するでしょう。

漁況情報(シラス)

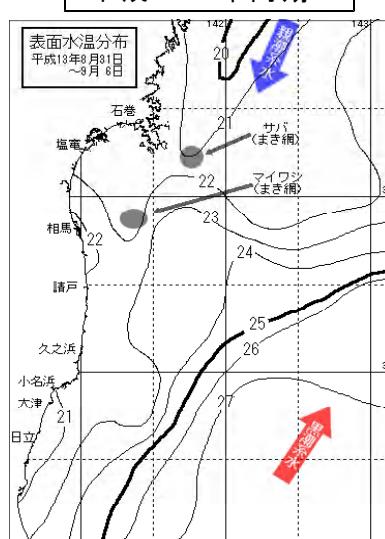
- ・今週半ばより、いわき海域で船曳網によるシラス漁が始まりました。9月4日に沼之内漁港で水揚げされたシラスは、体長が20mmと昨年同期(体長23m)に比べ小型でした。
<参考>9/4沼之内水揚げ 813kg/4隻 @222円/kg
- ・昨年は8月5日に初漁となり、お盆明けから漁が本格化しましたが、今年は冷水が停滞したことに加え、黒潮系暖水の北上が弱かったために、昨年より1ヶ月程度来遊が遅れていると思われます。今後は、沿岸域の季節昇温に加えて、本県沖合における黒潮系暖水の北上が持続すれば、漁の本格化が期待されます。

定地・定点水温の推移(°C)

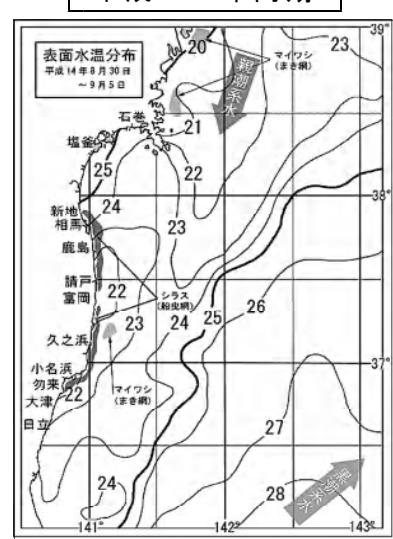
月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
8/29	20.3	19.5	-	-
9/1	19.8	20.0	21.3	-
9/2	20.8	20.6	21.3	-
9/3	21.3	19.5	21.7	-
9/4	20.6	19.0	22.2	-

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

平成13年同期



平成14年同期



表面水温分布

平成15年8月29日
~9月 4日

サバ
(まき網)

塩釜

亘理

新地
相馬

鹿島

請戸

富岡

久之浜

小名浜

勿来

日立

21

C

気仙沼

100m深
200m深

19

20

C

23

38-00N

20

21

22

23

サバ・マイワシ
(まき網)

21

20

20

C

マイワシ

(まき網)

W

37-00N

木浦糸垂網

25

39-00N

141-00E

142-00E

143-00E

漁海況速報

No.35

平成15年9月12日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:
県内各漁業協同組合
磐城沖石油開発(株)
宮城県水産研究開発センター
茨城県水産試験場
(社)漁業情報サービスセンターほか

第8回水産試験場参観デー開催!
とき:平成15年10月4日(土)
9:00~15:00
ぜひお越しください!

海況(表面)

親潮系冷水の勢力変わらず、沖合はゆるやかに昇温

①本県のごく沿岸にあった冷水域は解消したが、親潮系冷水の勢力は変わらず、19°C台は相馬沖の距岸25~30海里付近にある。

②黒潮系暖水の勢力は依然弱いが、24°C台は鹿島町沖の距岸50海里付近まで広がっている。

③定地水温は、小名浜で1°C低め~平年並み、大熊で1~3°C低め、松川浦で1~2°C低めで推移している。

見通し(1週間)

・宮城県付近の冷水が南下するため、本県沿岸はやや降温するでしょう。

平成15年9月海洋観測結果

- 9月1日~4日に「いわき丸」が行った海洋観測結果をお知らせします。(下表は°C、50海里以内の平均)
- 今期の特徴は、依然として親潮系冷水の波及が強いことです。表面水温は昇温し平年よりやや低め~平年並みとなりましたが、下層は平年より低めで推移しています。
- この低め基調は昨年7月以降継続しています。現在、三陸北部~南部にかけて親潮系冷水が分布し、黒潮系暖水も弱いため、低め基調は今後もしばらく継続するでしょう。

	0m深(表面)			100m深		
	水温値	平年差	前年差	水温値	平年差	前年差
鵜ノ尾崎	21.2	-1.05	-1.92	11.25	-1.36	+0.6
富岡沖	22.6	-0.05	-0.53	8.08	-3.80	-2.58
塩屋崎沖	21.9	-1.06	-1.11	8.79	-3.40	-2.53
平均	21.8	-1.19	-0.72	9.37	-2.85	-1.50

お詫びと訂正:前号(No.34)の漁況概況面に空欄がありました。お詫びして訂正いたします。

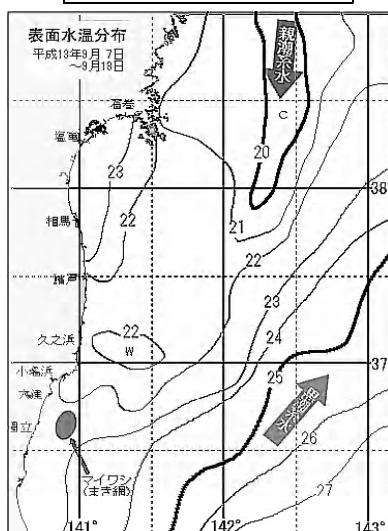
久之浜、採貝藻の出漁日 → 8/29,30,9/1,2

定地・定点水温の推移(°C)

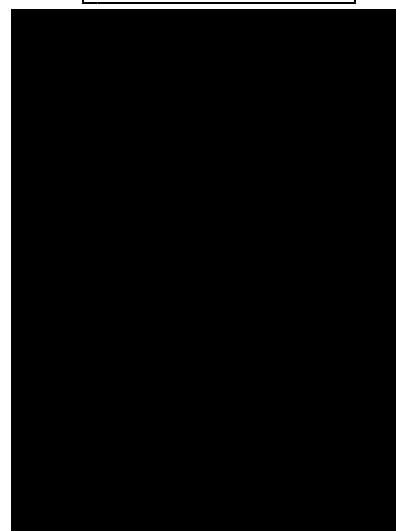
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖	
月日					
9/5	21.3	20.8	22.5		情報
9/8	20.0	20.9	21.1		
9/9	20.1	19.3	21.7		未集計
9/10	20.8	20.1	22.2		
9/11	20.5	20.2	22.2		

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

平成13年同期

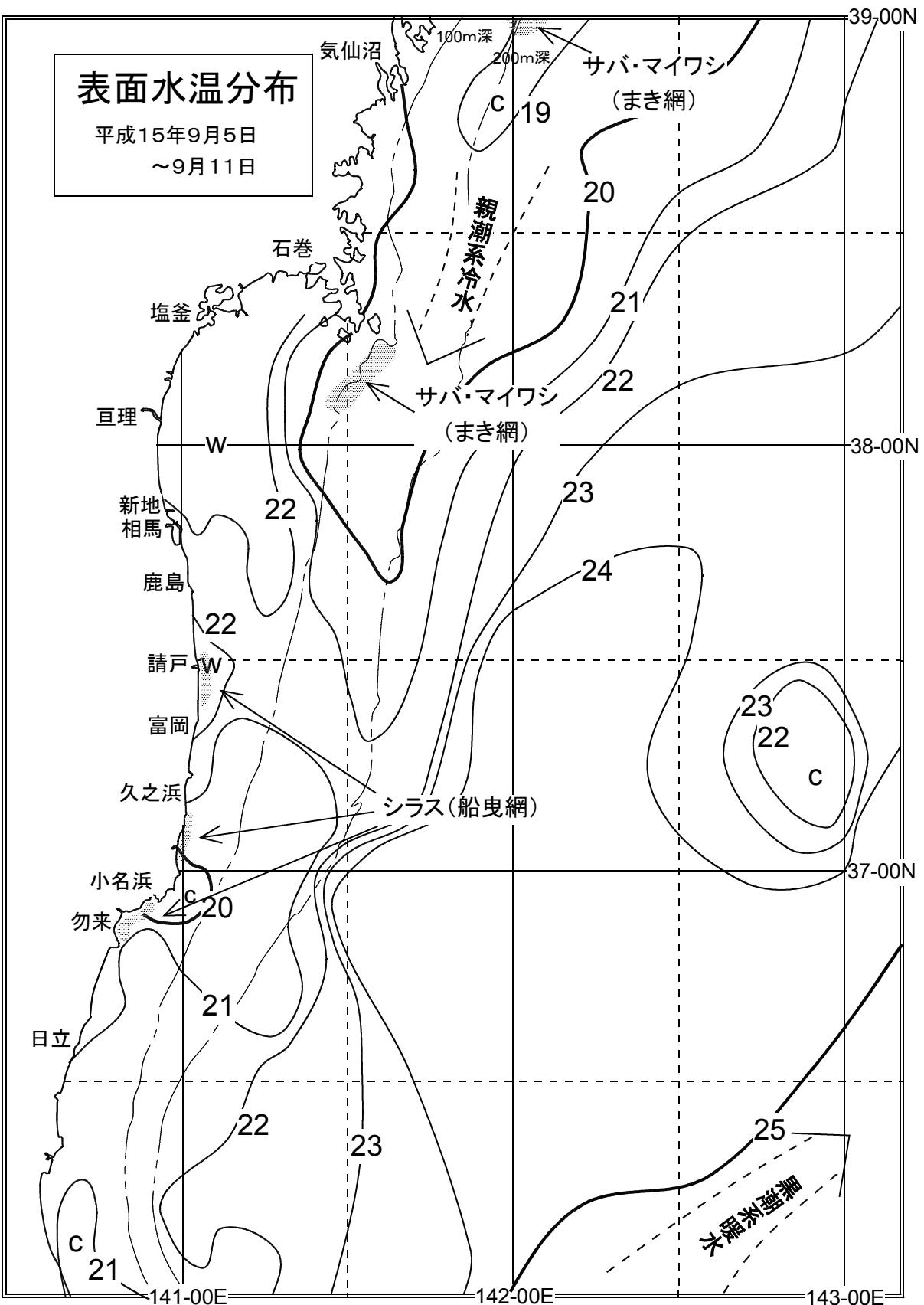


平成14年同期



表面水温分布

平成15年9月5日
~9月11日



漁海況速報

No.36

平成15年9月19日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンターほか

第8回水産試験場参観デー開催!

とき: 平成15年10月4日(土)

9:00~15:00

ぜひお越しください!

海況(表面)

親潮系冷水は20~30海里沖を南下

- ①親潮系冷水の勢力は前週並みで、18°C台は相双海域沖30海里付近にみられる。
- ②黒潮系暖水の勢力は前週並みで、本県海域への波及はみられない。
- ③定地水温は、小名浜、大熊、松川浦とも平年並みで推移している。

見通し(1週間)

- ・海況に大きな変化は無く、親潮系冷水の勢力は現状並みでしょう。

漁況情報(シラス)

・本県沿岸では、秋のシラス漁が続いておりますが、昨年に比べ来遊が遅れており、また漁模様も低調に推移しています。

・右表は今年と昨年の水揚げ状況です(水産試験場速報値)。量が少ないのに加え、単価も安めの傾向です。

・今年の漁獲物の特徴として、サイズが小型~カエリ程度の大きさと、ばらつきがあることが挙げられます。

平成15年

	相双		いわき	
	水揚量	単価	水揚量	単価
7月	10	105	0	0
8月	61	420	0	0
9月※1	31,601	325	9,601	335

※1 9月は1~17日の合計値

平成14年

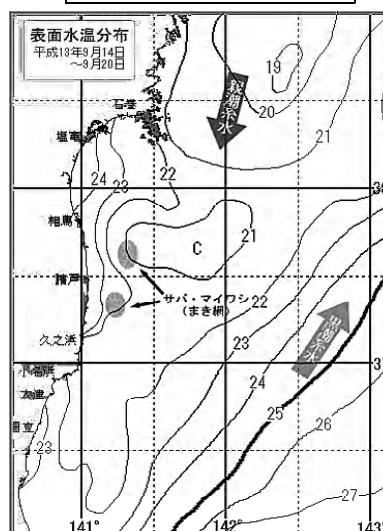
	相双		いわき	
	水揚量	単価	水揚量	単価
7月	499	638	302	621
8月	148,756	511	14,168	837
9月	362,577	610	53,627	597
10月	140,737	502	32,364	476
11月	345,274	315	73,980	300
12月	22,482	460	25,379	191

定地・定点水温の推移(°C)

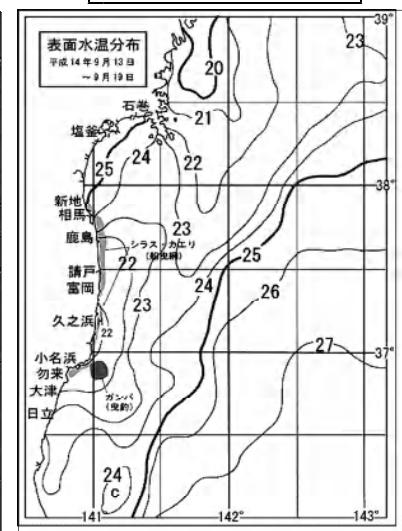
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
9/12	21.0	22.0	22.5	18.8
9/16	21.2	22.4	21.7	18.9
9/17	22.2	21.6	22.1	19.6
9/18	22.0	21.1	22.5	19.6
9/19	21.4	—	—	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

平成13年同期

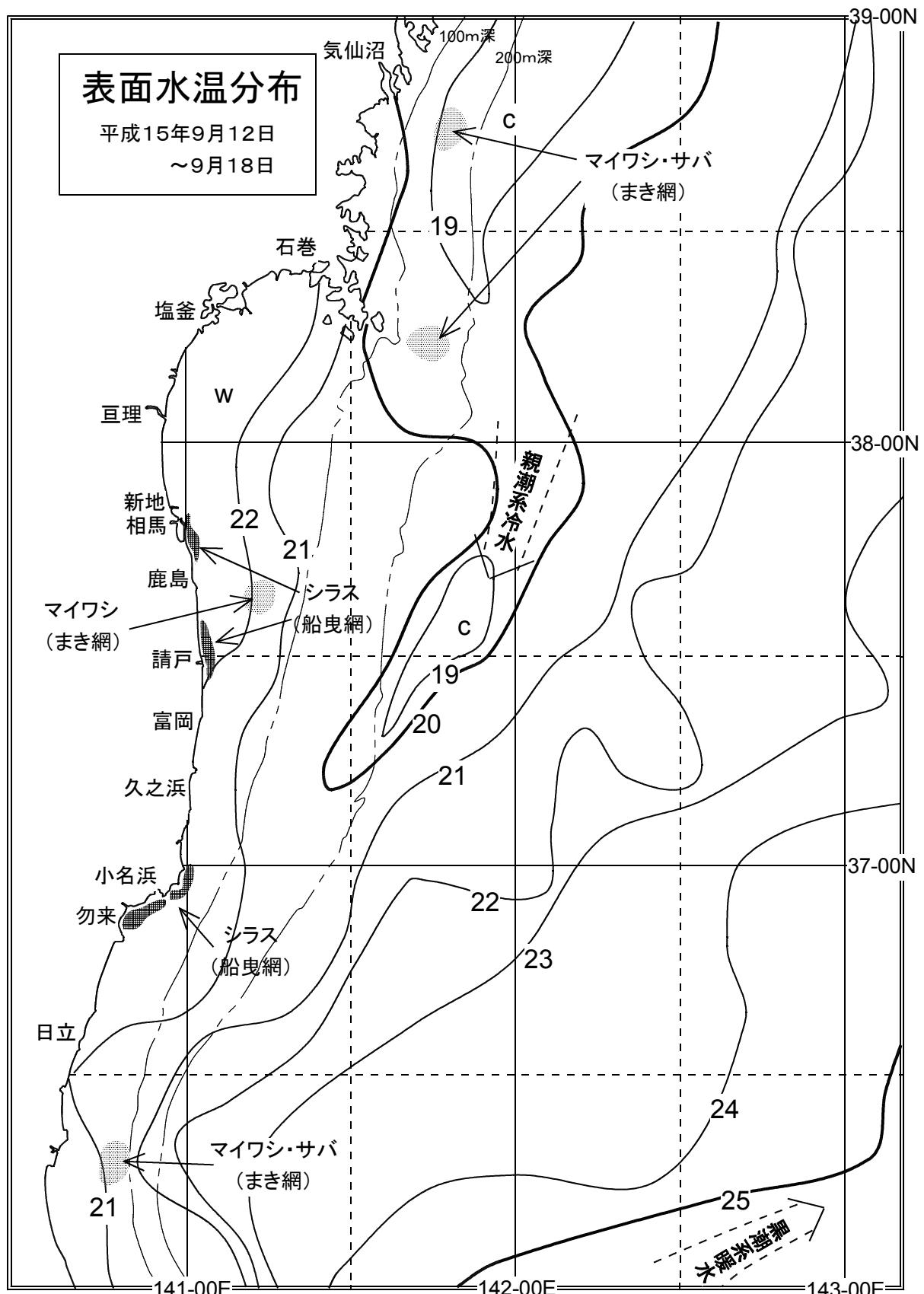


平成14年同期



表面水温分布

平成15年9月12日
~9月18日



漁海況速報

No.37

平成15年9月26日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:
県内各漁業協同組合
磐城沖石油開発(株)
宮城県水産研究開発センター
茨城県水産試験場
(社)漁業情報サービスセンターほか

第8回水産試験場参観デー開催!
とき:平成15年10月4日(土)
9:00~15:00
ぜひお越しください!

海況(表面)

前週より1~2℃降温し、本県沿岸は18~19℃台

- ①台風等の気象の影響により、本県沿岸は広く1~2℃降温している。
- ②親潮系冷水、黒潮系暖水の勢力はともに前週並みで、宮城県沖30海里およびいわき沖10海里付近には17℃台の冷水域がみられる。
- ③定地水温は、小名浜で2℃、松川浦で1℃低め、大熊で半年並みで推移しています。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水、黒潮系暖水の勢力は変わらない見込みです。

漁況情報(9月前半の底びき漁模様)

- ・9月前半の底びき網の漁模様をお知らせします(県内主要6漁協、9/1~9/17)。
 - ①総水揚量は約570トン(対前年同期比116%)、総水揚金額は約1.7億円(同101%)でした。
 - ②量的にみると、灘側はマガレイ、ナメタガレイ好漁、沖側はヤナギダコ、ミズダコ、ナメタガレイ好漁でした。
 - ③今期の特徴として、前年好漁であったヤナギダコ、ミズダコが前年の1.6倍と更に増加したこと、ケガニが前年の0.3トンに対し13.2トンも水揚げされたこと、また前年好漁だったメヒカリが前年の32トンに対し、10トンと大きく減少したことが挙げられます。

漁況情報(サンマ)

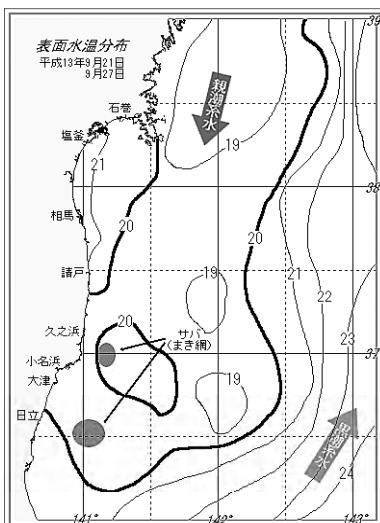
- ・9月20日までのサンマ累積水揚量は次のとおりです。

	平成15年			平成14年		
	延隻数	水揚量	単価	延隻数	水揚量	単価
福島県	7	179	131	0	0	—
本州合計	570	34,908	96	437	18,807	231

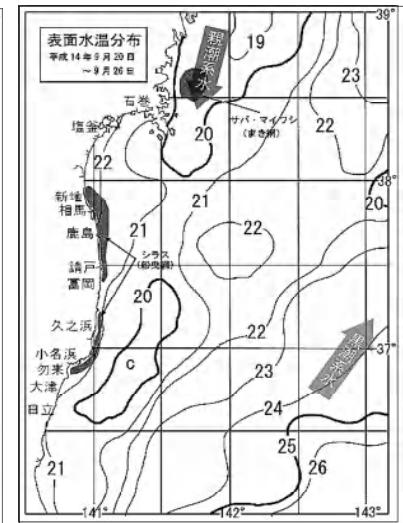
(全さんま資料より抜粋)

単位:トン、円/kg

平成13年同期



平成14年同期

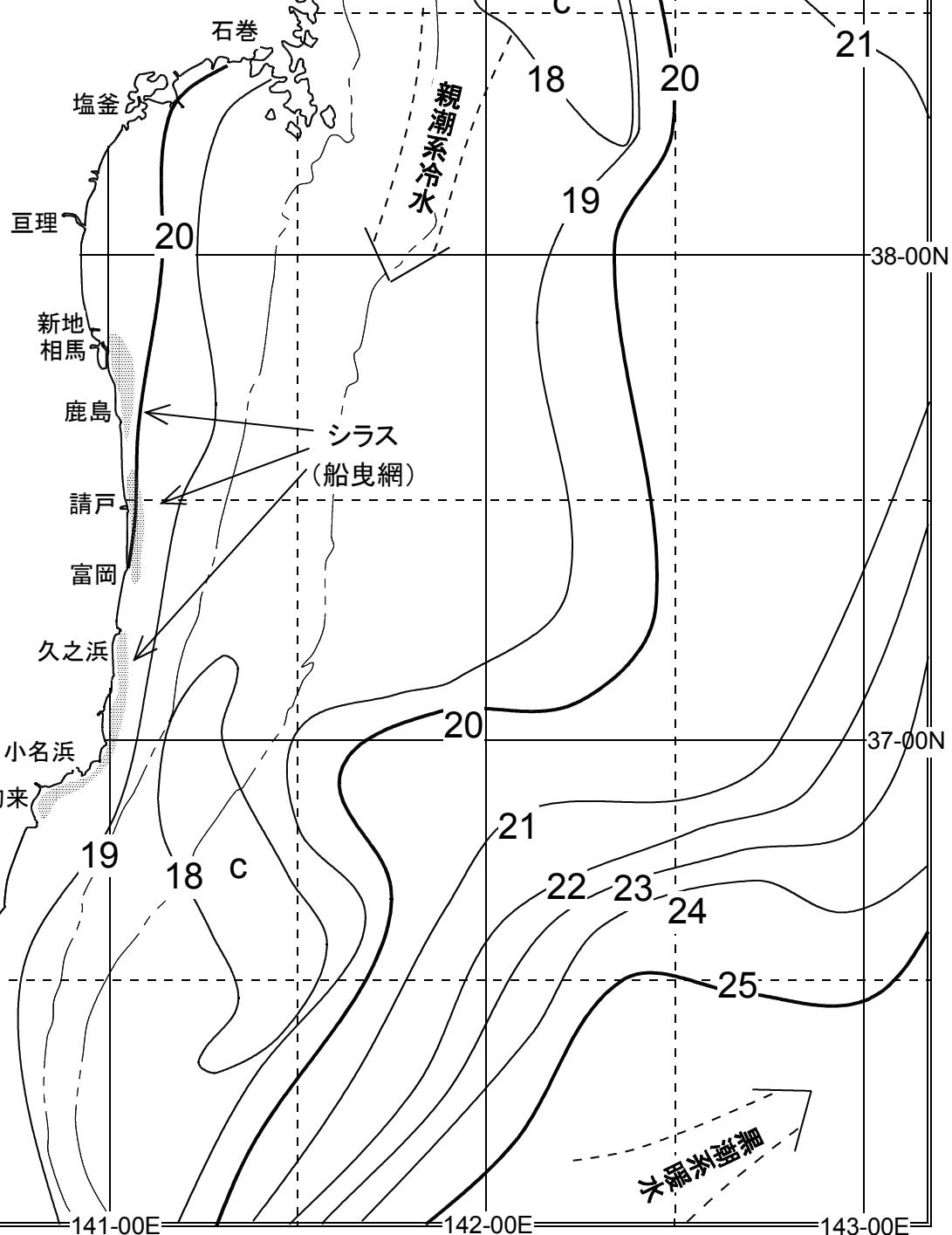


場所 月日	小 名 浜	大 熊	松 川 浦	廣 野 沖
9/19	21.4	21.4	22.5	19.9
9/22	19.4	21.9	19.1	17.5
9/23	—	—	—	17.5
9/24	19.8	21.3	19.7	17.5
9/25	19.9	20.5	19.8	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成15年9月19日
~9月25日



漁海況速報

No.38

平成15年10月3日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンターほか

第8回水産試験場参観デー開催!

とき:平成15年10月4日(土)

9:00~15:00

ぜひお越しください!

海況(表面)

前週と大きく変わらず、沿岸は18~19℃台

①親潮系冷水の勢力は前週並みで、本県沿岸は18~19℃台で停滞している。

②黒潮系暖水は、茨城県沖合で暖水が弱く波及しているが、前週と大きな変化はみられない。

③定地水温は、小名浜で2℃、松川浦で1℃低め、大熊で半年並みで推移しています。

見通し(1週間)

・親潮系冷水の勢力は変わらず、本県沿岸水温は停滞するでしょう。

漁況情報(カツオ)

・9月末日までのカツオ水揚量は次のとおりで、不漁であった昨年を大きく上回りました。現在の漁場は宮城県沖の100マイル付近ですが、漁は低調となっており、まき網は終漁する船が多くなっています。

単位:トン、水試速報値

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
平成14年	0	15	80	1,933	1,729	1,063	1,234	19	0
平成15年	0	214	724	3,155	3,831	1,836	712		

漁況情報(サケ)

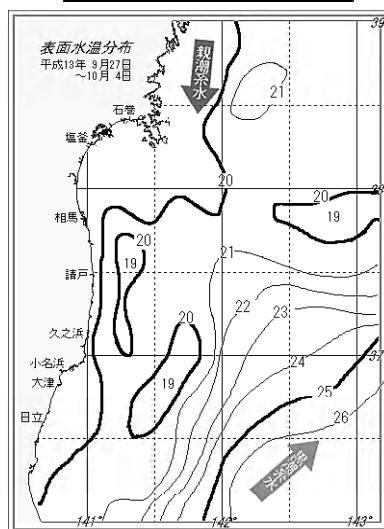
・サケの沿岸での水揚げが、9月下旬から徐々に増加してきました。本県の9月末日までの定置網、さし網による累計水揚量(一部未集計の地区を含む)は約5,800kgで、昨年と比べると出足は良くないようです。

定地・定点水温の推移(℃)

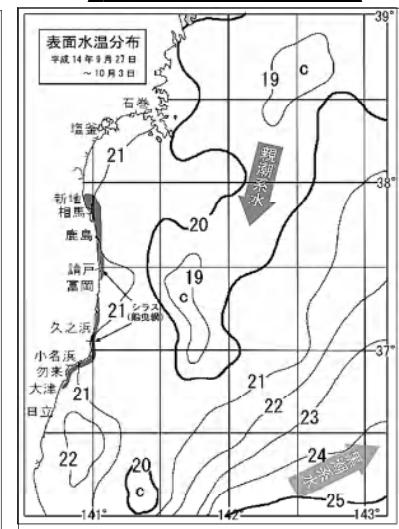
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
9/26	19.9	20.0	20.1	17.4
9/29	19.8	20.3	20.1	18.1
9/30	19.7	20.3	19.7	18.0
10/1	18.9	20.0	19.4	17.9
10/2	19.1	20.0	19.1	18.1

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

平成13年同期

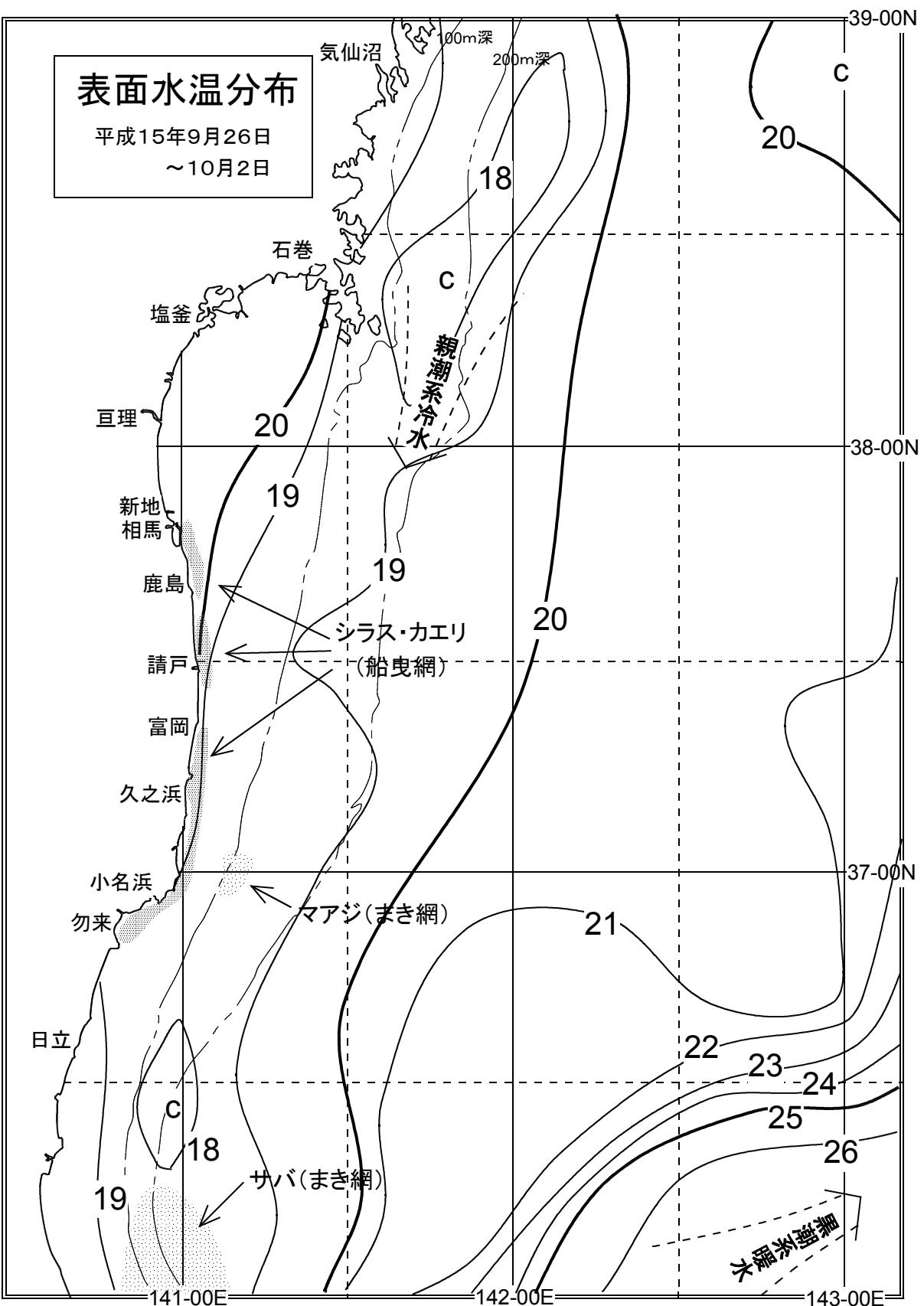


平成14年同期



表面水温分布

平成15年9月26日
~10月2日



漁海況速報

No.39

平成15年10月10日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況（表面）

前週と大きく変わらず、沿岸は17~19℃台

- ①親潮系冷水の勢力は前週並みで、本県沿岸は17~19℃台で停滞している。
- ②黒潮系暖水は、茨城県沖合で暖水が弱く波及しているが、前週と大きな変化はみられない。
- ③定地水温は、小名浜、大熊で1℃、松川浦で2℃低めで推移しています。

見通し（1週間）

- ・親潮系冷水の勢力は変わらず、本県沿岸水温は停滞するでしょう。

漁況情報(底びき網漁況)

9月の底びき網漁況

底びき網の解禁から1カ月経過しましたが、9月の漁模様についてお知らせします

①9月の総水揚げ量は約950トン(対前年同期比105%)、総水揚げ金額は約3億円(同 91%)でした。

②今期の特徴は以下のとおりです。

- ・前年好漁だったヤナギダコ、ミズダコが前年の1.3~1.5倍と更に増加した。
- ・この時期水揚げの少ないケガニが、前年の約1トンに対し約29トンも水揚げされた。
- ・前年好漁だったメヒカリが、前年の約66トンに対し約15トンと減少した。
- ・マガレイは前年の1.5倍の水揚げがあったが、サイズが小型のため金額的には前年の約6割にとどまった。

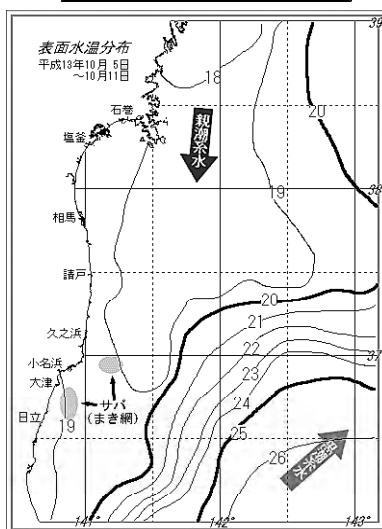
*水揚げデータは県内主要7漁協。

定地・定点水温の推移(℃)

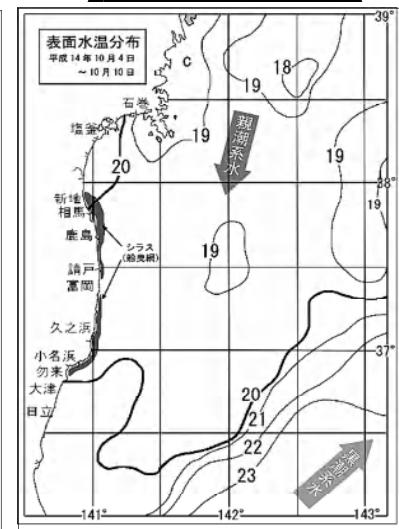
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
10/3	18.7	19.0	18.7	17.7
10/6	18.7	18.5	18.1	16.0
10/7	18.4	17.9	17.7	17.5
10/8	18.3	18.2	17.6	17.4
10/9	18.0	18.1	17.5	17.2

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

平成13年同期

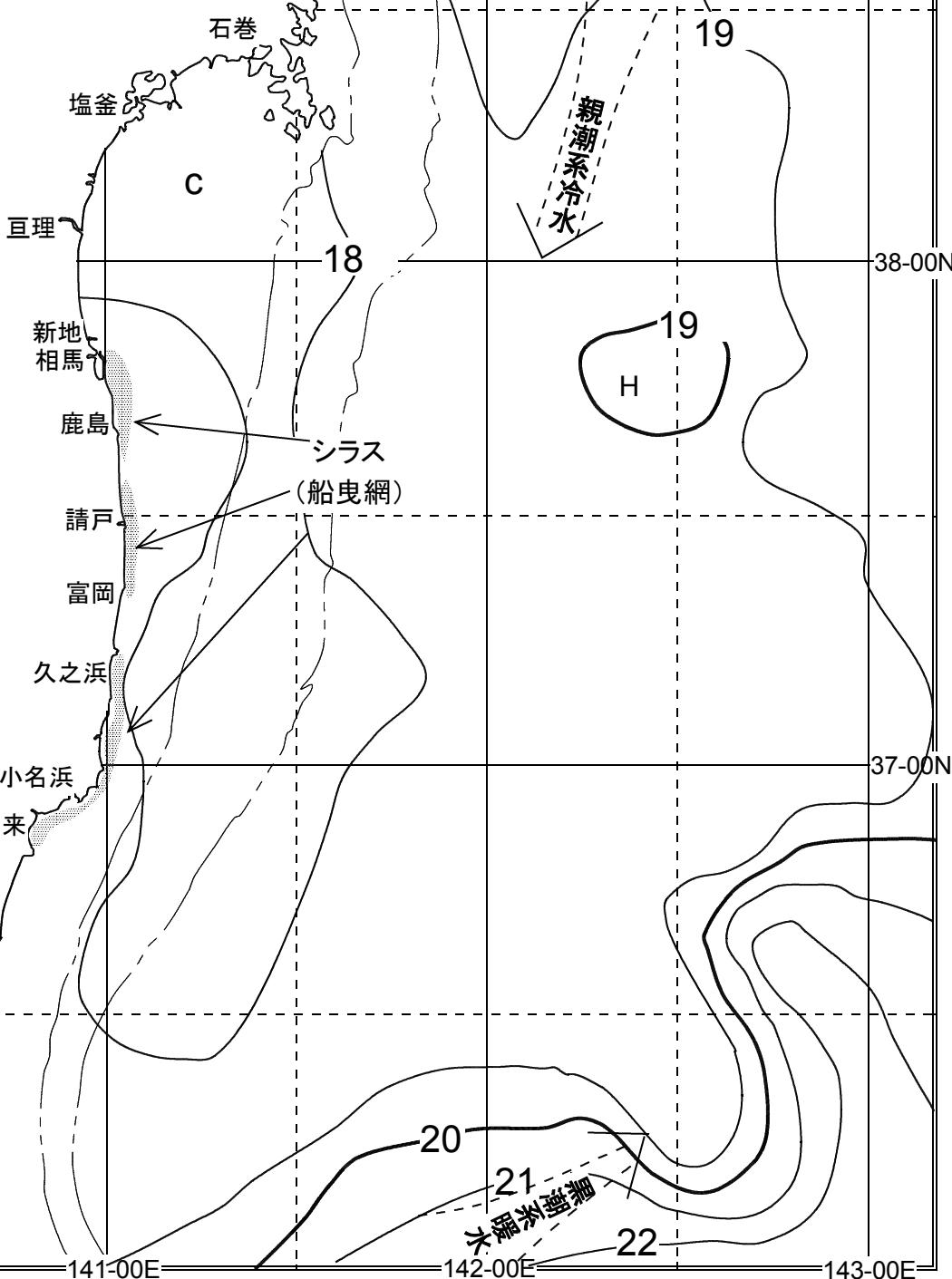


平成14年同期



表面水温分布

平成15年10月3日
～10月9日



漁海況速報

No.40

平成15年10月17日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

水温は停滞し、沿岸は17~19°C台と変わらず

①親潮系冷水は本県の距岸20~30海里付近を断続的に南下しており、17°C台の水帶もみられる。

②黒潮系暖水の勢力は弱く、本県沿岸への波及はみられない。

③定地水温は、小名浜で2~3°C、大熊、松川浦で1~2°C低めで推移しています。

見通し(1週間)

・ごく沿岸は季節的な降温により、現状並み~1°C降温となるでしょう。

平成15年10月海洋観測結果

- 10月6日~9日に「いわき丸」が行った海洋観測結果をお知らせします。(下表は°C、50海里以内の平均)
- 本期の特徴は、低め基調が継続し表面・下層とも低め~極めて低めの海域がみられたことです。本県沖の50海里(東経142°)付近は、黒潮系暖水の波及が無いこと、親潮系冷水が断続的に南下したことで、平年より5~8°Cも低くなっています。
- 他に特徴的なことは、距岸50海里付近で逆潮が特に強いことで、比較的強かった昨年並みの流速(2ノット以上)が観測されました。

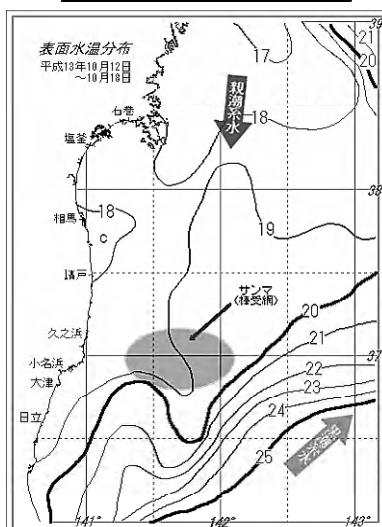
	0m深(表面)			100m深		
	水温値	平年差	前年差	水温値	平年差	前年差
鵜ノ尾崎	18.4	-1.30	-2.31	10.9	-2.12	+0.08
富岡沖	18.4	-1.96	-2.04	8.28	-3.63	-4.85
塩屋崎沖	17.8	-3.05	-2.41	8.09	-4.71	-4.11
平均	18.2	-2.11	-2.25	9.09	-3.49	-2.95

定地・定点水温の推移(°C)

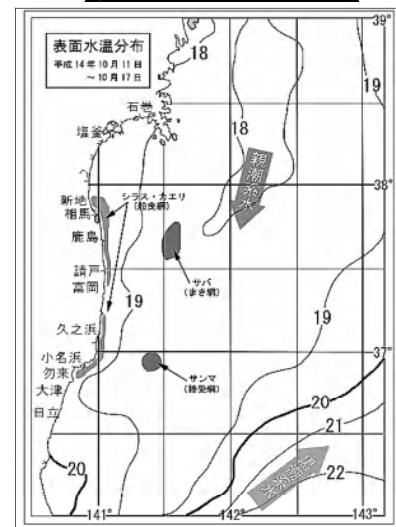
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
10/10	17.7	18.1	17.7	17.3
10/14	18.1	18.2	17.7	18.1
10/15	17.5	18.1	17.5	18.3
10/16	17.7	18.0	17.7	17.3
10/17	17.8	—	—	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

平成13年同期



平成14年同期



表面水温分布

平成15年10月10日
~10月16日

